



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信



平成28年1月号
(宮崎県西臼杵支庁)
NO.156

高千穂郷・椎葉山地域 世界農業遺産に認定!

12月15日、FAO（国連食糧農業機関）から認定証が交付されました



世界農業遺産の認定は、私たち若い世代にとって「自信」と「希望」になり、「未来」を創る大きな一歩となります!



五ヶ瀬中等教育学校6年
みやざき かの
宮寄麻由香さん



日本の伝統、風習を演出するため、はかま姿でプレゼンテーションを行った河野知事

当地域がなぜ世界農業遺産にふさわしいかを力強くアピールしました!



認定証

本県初の世界遺産! 「世界ブランド」認定に地元喜び広がる!!



平成27年12月15日、ついに「高千穂郷・椎葉山地域」が、FAO（国連食糧農業機関）から世界農業遺産に認定されました。同日夜、推進協議会の事務局がある高千穂町に、内田副知事をはじめ高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、椎葉村、諸塚村の関係者ら約100名が集まり、内倉高千穂町長から認定証の交付を知らせる電話の声がスピーカーから流れると会場は大きな歓声に包まれました。

現地からの報告によると、河野知事と五ヶ瀬中等教育学校の宮寄さんのプレゼンテーションは委員に大好評で、「ベリーグッド」の声も上がったとのこと!

世界農業遺産の認定は、当地域にとって大きな自信と誇りになるとともに、様々な効果も期待されます。西臼杵支庁としても、地域と一体となって活性化に取り組んでいきます。

西臼杵を流れる五ヶ瀬川大特集!

五ヶ瀬川は、五ヶ瀬町向坂山を源流に、延岡市を貫流して日向灘に注ぐ幹線流路延長106kmの宮崎県を代表する一級河川です。この五ヶ瀬川沿いには、意外と知られていない驚きと感動の見どころがたくさんあります。今回は西臼杵管内のそんなお宝スポットを紹介します。



④ 尾橋溪谷
高千穂峡から約5km上流にあり、「奥高千穂峡」とも呼ばれています。国見大橋の上から眺める巖穴や柱状節理は絶景です!



⑤ 高千穂峡
高千穂峡も五ヶ瀬川の渓谷の一つです。右の写真はあらぎ乃茶屋から見える高千穂三段橋です。



⑥ 音の谷吊り橋
上から高千穂大橋(昭和30年竣工)、神都高千穂大橋(平成15年竣工)、神橋(大正期建設の木橋が昭和22年に石橋へ)。一つの渓谷に3本のアーチ橋は全国初。



九州オルレ高千穂コースにもなっている五ヶ瀬川に架かる吊り橋。橋の上からの眺めは最高です。



⑦ 天翔大橋
旧高松中学校からは、天翔大橋を下からきれいに眺めることができます。岩肌や青空の鮮やかな色と一緒に楽しめます。



⑧ 日之影川と合流!奥には青雲橋!
奥から流れてくる日之影川との合流点です。上に架かる青雲橋は高さ137m、橋長410m。5月には橋の下の日之影川に500匹のこいのぼりが泳ぎます。



③ 県界橋には4つの境界が!
五ヶ瀬町 熊本県(山都町) 川走川 高千穂町

五ヶ瀬川より左側が五ヶ瀬町。川走川に架かる県界橋を渡ると熊本県で手前は高千穂町になります。つまり、ここには3つの町境と1つの県境が存在します。



② 五ヶ瀬川・三ヶ所川合流点
一旦熊本県側に出た五ヶ瀬川は、ここで三ヶ所川と合流し、宮崎県と熊本県の県境に沿って流れていきます。



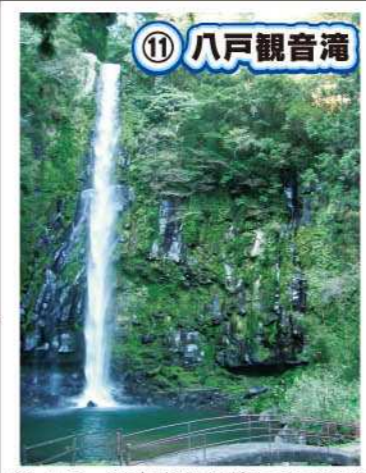
① 五ヶ瀬川源流
五ヶ瀬川の始まりは五ヶ瀬町の向坂山です。源流のすぐ上にスキー場があります。



⑨ 日之影温泉
廃線となった高千穂鉄道の日之影駅が温泉施設にリニューアルされており、五ヶ瀬川のせせらぎを聞きながら買い物や温泉を楽しめます。また、右側の写真のTR鉄道の列車は、宿泊施設「TR列車の宿」となっています。



⑩ 第3五ヶ瀬川橋梁
TR鉄道の鉄橋でもあった第3五ヶ瀬川橋梁は、今は森林セラピーウォークの「TR鉄道跡地散策コース」になっています。吾味駅跡から出発して橋を歩きながら眺める景色に、身も心も癒やされます。



⑪ 八戸観音滝
約45mの高さから落ちてくる滝は迫力満点。滝の上部の洞穴には、安産の菩薩「八戸観音堂」があります。



⑫ 横峰大橋・網ノ瀬橋梁
上の橋は国道218号の橋長330mの横峰大橋。下の網ノ瀬橋梁の42連続アーチと五ヶ瀬川のマッチングは素晴らしく見応えがあります!

これも地域のお宝です② ~七折用水 日之影町~

世界農業遺産に認定された「高千穂郷・椎葉山地域」。当地域を特徴付ける1,800haを超す日本有数の棚田群は、総延長 500km以上にも及ぶ山腹水路（かんがい水路）によって支えられています。先人たちの多大な努力により、急峻な山肌をぬうように建設された「山腹水路」。今回は、その中でも建設に困難を極めた日之影町の七折用水を紹介します。

かんがい水路建設の必要性

深い渓谷のため、日之影川からの取水は難しく、当地域ではトウモロコシや麦しか作れませんでした。このため、先人たちは日之影川上流に頭首工を設け、等高線沿いに水路をつくることを計画しました。

岩あり崖あり！工事は難航！

大正9年に着工。しかし、水路の建設現場は、岩や断崖絶壁の多い難工事であったため、わずか2年で請負会社が工事を放棄する事態も発生。このため、先人たちは組合をつくり直営で工事を進めました。



水路

ついに完成！稲作が可能に！

岩に隧道(トンネル)を通しながら難工事に取り組み、約9年をかけてついに昭和4年に七折用水が完成しました。これにより、稲作が可能になり、多くの棚田が開設されました。



用水路は1 kmにつき1 mの傾斜

険しい山の中、その技術と努力に感動！



水資源を活用！日之影発電所



当用水では、水路と五ヶ瀬川河床の209mの高低差を活用して水力発電を行っています。最大発電量は2,300kWで、日之影町（人口約4千人）の電力を賄える規模です。売電収入のおかげで、この用水を管理する日之影土地改良区の組合員の賦課金は他の地域の約1/4程度。先人が残した遺産が地域の財産となっています。

詳しくは、水土里ネット日之影 日之影土地改良区 ☎ 0982-87-2384) までお問い合わせください。

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

西臼杵支庁 検索



Facebookページ西臼杵支庁「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」始めました！